

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
快適で質の高い 住環境の整備	都市公園の整備	1	城山公園駅北駐車場維持管理事業
		2	城山記念館運営事業
		3	樹木の里親制度推進事業
		4	公園維持管理事業
		5	街路樹維持管理事業
		6	日本公園緑地協会参画事業
		7	都市公園安全安心支援事業
		8	城山公園駐輪場運営事業
		9	公園台帳更新事業
		10	公園施設長寿命化事業
		11	河川施設管理事業
		12	(仮称)高萩中央公園整備事業

事務事業名		城山記念館運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					事業区分	担当	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当組織	担当係	市街地整備係	担当課長名	三関 純一
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備						新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備						実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
	11736	一般	8	4	5	城山記念館運営事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H23年度～ 年度		根拠法令 条例等	都市公園法 佐野市都市公園条例		実施方法		一部委託		
								事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
								リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
城山公園は、JR佐野駅・東武佐野駅の北側、佐野市の中心に位置し、多くの市民・観光客が利用している。その城山公園内にある城山記念館を維持管理して、各種団体等に多目的室や和室を提供している。					・4月～3月 臨時嘱託員2名を配置し城山記念館の運営及び維持管理を実施。 ・7月 公共予約システム用のパソコン及びプリンターを更新。						
活動指標					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
城山記念館の開館日数					日	307	307	307	268	307	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
城山記念館利用者					対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
城山記念館の利用者数					人	24,396	20,809	16,889	7,700	12,000	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
城山記念館を快適に利用してもらう。					成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
利用者からの苦情件数					件	0	1	0	0	0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。					上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
市民1人当たりの都市公園面積					m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	5,966		5,708		4,869		5,446		5,446	
	一般財源	千円	3,350		3,872		4,600		5,848		5,848	
	事業費計(A)	千円	9,316		9,580		9,469		11,294		11,294	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報酬	3,994	報酬	3,994	報酬	3,929	報酬	4,265	報酬	4,265
			共済費	622	共済費	644	共済費	631	職員手当等	924	職員手当等	924
			需用費	2,335	需用費	2,521	需用費	2,328	共済費	907	共済費	907
			役務費	143	役務費	105	役務費	147	旅費	128	旅費	128
			委託料	2,183	委託料	2,245	委託料	2,378	需用費	2,339	需用費	2,339
			使用料及び賃借料	14	使用料及び賃借料	20	使用料及び賃借料	56	役務費	163	役務費	163
備品購入費			25	備品購入費	50			委託料	2,499	委託料	2,499	
使用料及び賃借料						使用料及び賃借料	69	使用料及び賃借料	69			
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	84		84		84		84		84		
人件費計(B)	千円	321		321		320		320		320		
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,637		9,901		9,789		11,614		11,614		

事務事業名	城山記念館運営事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	市街地整備係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年度までは公園維持管理事業として他の公園と併せた事業であったが、事務の効率化を図るため平成23年度から城山記念館運営事業として単独で管理することになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特になし。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	不具合箇所の早期発見及び修繕が行えた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	城山記念館を良好に維持管理することは、潤いのある生活環境の実現に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	城山記念館は市の都市公園施設であり、市が責任をもって運営すべきである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象と意図を見直す必要はなく、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	不具合箇所の早期発見及び修繕を行った事など、市民に安心して利用いただける施設を維持する努力をし、結果、利用者の苦情件数が0となった事から、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は最小の経費で行っており削減できない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	和室や多目的室を利用する場合は、使用料を徴収しているため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 城山記念館が廃止又は売却になれば本事業は終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		樹木の里親制度推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)				
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	市街地整備係	担当課長名	三関 純一	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11703	一般	8	4	5	樹木の里親制度推進事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H6年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業			市単独事業
								任意的事業・義務的事業			任意的事業
								実施方法			一部委託
								事業分類			その他市民に対する事業
								リーディングプロジェクト			該当なし
								市長市政公約			該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
植上町、植野町(台南)、植野町(泉)、上台町の4町会を対象に「医師会通り」の樹木の里親を募集し、平成6年度から樹木に里親の名札を掲示し、樹木の根本の除草や乾燥時の散水等の管理をお願いしている。					・4月～3月 医師会通りの街路樹について里親を指定 ・5月 里親へ作業用物品(軍手・ゴミ袋)の配布 ・10月 老朽化した名札の取替え						
活動指標					単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
老朽化した名札の取替数					枚	41	42	42	40	40	
新規里親の名札の取付数					枚	0	0	0	1	1	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
医師会通りの街路樹。樹木の里親。					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
医師会通りの街路樹数					本	115	115	114	114	114	
里親数					人・団体	44	44	37	38	39	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
街路樹を良好に管理する。樹木の里親の活動を支援する。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
里親を指定した樹木数					本	115	115	71	72	73	
作業用物品を配布した里親数					人・団体	44	44	37	38	39	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
市民1人当たりの都市公園面積					m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	76	82	85	83	83					
	事業費計(A)	千円	76	82	85	83	83					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			消耗品費	33	消耗品費	41	消耗品費	40	消耗品費	41	消耗品費	41
			作成委託料	43	作成委託料	41	作成委託料	45	作成委託料	42	作成委託料	42
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1						
のべ業務時間	時間	30	30	30	30	30						
人件費計(B)	千円	114	115	114	114	114						
トータルコスト(A)+(B)	千円	190	197	199	197	197						

事務事業名	樹木の里親制度推進事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	市街地整備係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成4年夏に長期間雨が降らず、公園や街路の樹木が枯死した経緯があり、住民による監視制度や里親制度が必要との観点から、市道1級3号線通称「医師会通り」は、周辺住家があり里親制度として条件が整っているため、平成6年6月から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化、温室ガス効果の削減、ヒートアイランド、異常気象による災害の発生があり、平成17年2月に京都議定書が発効され温室ガス削減目標が定められた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成26年6月議会の一般質問において、樹木の里親制度について、現在、医師会通りのみで実施しているが、今後、他の地域で実施する計画はあるのかとの質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	緑に対する理解と関心を深めてもらい、樹木を管理することは、潤いのある空間の確保に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	街路樹の管理をすることで緑に対する理解と関心を深めてもらい、良好な街並みが維持できることに公共が関与することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	沿道に緑や潤いを増やし、市民に緑に対する理解と関心を深めてもらうもので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	里親の数としては実質的な増減はないが、大口の管理を行っていた団体が抜けてしまったため、指定樹木数が減少してしまった。新たに広報やHPなどで、樹木の里親をPR、募集し、補充ができれば、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費は最小の経費で行っており削減できない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	街路樹を適正に管理することは、潤いのある住環境の実現に貢献するものなので、受益者は通行者も含まれ、受益者は特定されないため、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 高齢化などで里親ボランティアがいなくなり、新規の成り手もいなくなったとき本事業は終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 新たに広報やHPなどで、樹木の里親をPR、募集する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					



事務事業名		城山公園駅北駐車場維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	市街地整備係	担当課長名	三関 純一	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11737	一般	8	4	5	城山公園駅北駐車場維持管理事業					
	事業区分		事業区分		事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H23年度～ 年度		根拠法令 条例等	都市公園法 佐野市都市公園条例		任意的事業・義務的事業		任意的事業	
	実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		施設維持管理事業(市主体)		該当なし		
	市長市政公約		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
城山公園は、JR佐野駅・東武佐野駅の北側、佐野市の中心に位置し、多くの市民・観光客が利用している。その城山公園内にある城山公園駅北駐車場を運営及び維持管理し、公園利用者等の利便を図る。		・4月～3月 駐車場の運営及び維持管理を実施。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
駐車場の稼働日数		日	365	365	366	365	365

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

城山公園駅北駐車場利用者。		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
駐車場の利用台数		台		36,935	37,019	36,636	37,000	37,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

城山公園駅北駐車場を快適に利用してもらう。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
利用者からの苦情件数		件		1	2	0	0	0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
市民1人当たりの都市公園面積		m <sup>2</sup>		19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	2,839		2,777		3,080		3,251		3,251	
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	2,839		2,777		3,080		3,251		3,251	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			修繕料	264	修繕料	202	修繕料	450	修繕料	450	修繕料	450
			委託料	2,320	委託料	2,320	委託料	2,374	委託料	2,363	委託料	2,363
使用料及び賃借料	256	使用料及び賃借料	256	使用料及び賃借料	256	使用料及び賃借料	438	使用料及び賃借料	438	使用料及び賃借料	438	
正規職員従事人数	人	1		1		1		1		1		
のべ業務時間	時間	20		20		20		20		20		
人件費計(B)	千円	76		76		76		76		76		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,915		2,853		3,156		3,327		3,327		

事務事業名	城山公園駅北駐車場維持管理事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	市街地整備係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年度までは公園維持管理事業として他の公園と併せた事業であったが、事務の効率化を図るため平成23年度から城山公園駅北駐車場維持管理事業として単独で管理することになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特になし。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	設備の定期点検等に基づき修繕等を迅速に行えた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	城山公園駅北駐車場を良好に維持管理することは、潤いのある生活環境の実現に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	都市公園の管理者は市であるので、公園施設である駐車場の運営は市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象と意図を見直す必要はなく、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	限られた予算のなかで、設備の定期点検等を行う事などによって修繕等を迅速に行っており、結果、利用者からの苦情もなかった事から、これ以上の成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は最小の経費で行っており削減できない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	城山公園駅北駐車場の利用料金は、公園利用者のために3時間までは無料であり3時間を超えて駐車した場合は有料となるため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 城山公園駅北駐車場が廃止又は民間に売却になれば本事業は終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)  	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		公園維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11710	一般	8	4	5	公園維持管理事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～年度		根拠法令 条例等	・都市公園法・佐野市都市公園条例					
						事業区分		市単独事業・国県補助事業			市単独事業
								任意的事業・義務的事業			任意的事業
								実施方法			一部委託
								事業分類			施設維持管理事業(市主体)
								リーディングプロジェクト			該当なし
								市長市政公約			該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園165箇所及び緑地広場等を、季節に応じた作業を適切に行い、良好に維持管理する。</li> <li>・維持管理作業は直営、専門業者、シルバー人材センター及び町会等へ委託して実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園170公園の内、運動公園等5公園を除く165公園及び緑地広場等の維持管理作業(清掃、除草、樹木剪定、害虫駆除、施設の点検・維持・修繕など)を実施した。</li> <li>・令和元年度中に新たに1公園が整備された。</li> </ul>					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
都市公園の面積		m <sup>2</sup>	1,521,950	1,522,073	1,522,250	1,522,373	1,522,496

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

都市公園	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	都市公園の数	箇所	168	169	170	171	172

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	都市公園を安全・快適に利用してもらう。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		市民からの苦情・要望件数	件	115	78	76	63	57

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民1人あたりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円	486									
	地方債	千円										
	その他	千円	1,475		1,719		2,056		6,672		1,659	
	一般財源	千円	121,296		119,169		112,885		111,757		123,764	
	事業費計(A)	千円	123,257		120,888		114,941		118,429		125,423	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報酬	8,535	報酬	6,751	報酬	8,844	給料等	13,998	給料等	14,000
			共済費	1,388	共済費	987	共済費	1,345	報償費	68	報償費	68
			需用費	24,013	需用費	24,951	需用費	22,984	需用費	27,373	需用費	25,000
			役務費	664	役務費	555	役務費	673	役務費	625	役務費	625
委託料			82,221	委託料	82,889	委託料	76,487	委託料	70,138	委託料	79,380	
使用料及び賃借料			1,310	使用料及び賃借料	1,310	使用料及び賃借料	1,310	使用料及び賃借料	1,312	使用料及び賃借料	1,400	
工事請負費			4,176	工事請負費	2,111	工事請負費	2,173	工事請負費	4,400	工事請負費	4,400	
備品購入費等	949	備品購入費等	1,334	備品購入費等	1,125	備品購入費等	515	原材料費等	550			
人件費	人	10		10		10		10		10		
のべ業務時間	時間	12,200		12,200		12,200		12,200		12,200		
人件費計(B)	千円	46,555		46,616		46,543		46,543		46,543		
トータルコスト(A)+(B)	千円	169,812		167,504		161,484		164,972		171,966		



事務事業名	公園維持管理事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・明治22年に城山公園が供用開始され、公園の維持管理が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・子供からお年寄りまで利用者の年代が幅広く、要望等が多様化している。 ・旧田沼地区の公園(36箇所)の維持管理を佐野市施設管理公社へ委託していたが、同公社が平成24年で廃止された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	多くの市民から、遊具や公園施設の不具合、広場の除草、樹木の剪定、害虫防除など要望されている。また、議会において、身近な災害・事故を防止するために、適切な維持管理するよう一般質問が出されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	都市公園を安全・安心に利用してもらうことは、快適で質の高い住環境の実現に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市の都市公園なので、市が維持管理に責任をもって当たるべきである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	都市公園などを安心して利用してもらうことは、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	維持管理に必要な作業のうち、清掃・除草等の軽作業を町会等や直営により実施し、専門性の高い作業を外注して実施しており、費用負担の少ない方法から選択しているため、やり方・進め方を見直すことはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	都市公園は、民間開発に伴う新設があると同時に、古い公園の設備の老朽化により、年々維持管理費が増加しており、削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	都市公園は、市民全体の財産であり、いつでもこの公園でも利用ができる。ただし、占用して利用する場合には、利用料金を課しているため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	多くの市民が快適に公園を利用するためには、休止・廃止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				

事務事業名		街路樹維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり					担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業			継続事業	
	基本事業	4	都市公園の整備					実施計画事業・一般事業			一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11735	一般	8	4	5	街路樹維持管理事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	道路法						
							事業区分			市単独事業・国県補助事業 市単独事業		
									任意的事業・義務的事业 任意的事業			
									実施方法 一部委託			
									事業分類 施設維持管理事業(市主体)			
									リーディングプロジェクト 該当なし			
									市長市政公約 該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
専門業者に業務委託を行い、街路樹を良好に維持管理する。 業務委託内容は剪定、除草、害虫防除等である。		・市道44路線の街路樹について、剪定、除草、害虫防除等を9件の業務委託により行ったが、台風の影響により冬期剪定は先送りとした。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
高木剪定		本	1,483	1,259	129	1,259	1,259
低木防除		m <sup>2</sup>	10,139	10,278	10,153	10,278	10,278
除草		m <sup>2</sup>	22,522	22,347	22,004	22,347	22,347

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

街路樹	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	街路樹実延長	m	21,647	21,157	20,777	21,157	21,157

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

街路樹が適切に管理されている。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民からの苦情・要望件数	件	115	78	76	63	57

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民1人あたりの都市公園面積(県営を含む)	m <sup>2</sup> /人	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	37,406		37,005		20,261		37,465		37,465	
	事業費計(A)	千円	37,406		37,005		20,261		37,465		37,465	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	37,406	委託料	37,005	委託料	20,261	委託料	37,465	委託料	37,465
	人件費	正規職員従事人数のべ業務時間	人 時間	2 50		2 50		2 50		2 50		2 50
人件費計(B)	千円	191		191		191		191		191		
トータルコスト(A)+(B)	千円	37,597		37,196		20,452		37,656		37,656		

事務事業名	街路樹維持管理事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年度までは公園維持管理事業として他の公園と併せた事業であったが、事務の効率化を図るため平成23年度から街路樹維持管理事業として単独で管理することになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地球温暖化、温室効果の削減、ヒートアイランド、異常気象による災害の発生があり、パリ協定が採択され温室効果削減目標が定められた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民から、街路樹の剪定、除草、害虫防除、落葉対策などの要望が多い。また、平成26年4月には他県で街路樹の枯れ枝落下事故があり、議会において市の対策について一般質問が出された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	街路樹が適正に維持管理されていることは、快適で質の高い住環境の整備に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	市が管理する街路樹なので、市が維持管理に責任をもって当たるべきである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	街路樹を適切に維持管理して、道路を安全に利用してもらうことは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	適切な時期・頻度で適正な単価・歩掛を用いて積算しており、やり方・進め方を見直すことはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	街路樹は道路新設等により増加する。既存の街路樹については数年毎に剪定が必要であり、害虫防除や除草は毎年行う必要があり削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	街路樹は市民全体の財産であり、沿道の環境を良好に形成して生活に潤いを与えるものとなっているため受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		市民が安全に安心して道路を利用するためには、休止・廃止はできない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																								
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				

事務事業名		日本公園緑地協会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11714	一般	8	4	5	日本公園緑地協会参画事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		参画事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
日本公園緑地協会に会員として負担金を支出している。また協会発行の機関誌等により公園に関する情報収集を行っている。	(市の活動) 日本公園緑地協会に負担金の支出。 同協会発行の機関誌やメール等から情報収集し事務事業に活用した。					
日本公園緑地協会は、公園緑地の健全な発展を図ることを目的として、地方公共団体541、法人134、個人201、賛助会員80の合計956団体が会員となっている団体である。	(日本公園緑地協会の活動) 総会、研修会、講演会の開催。都市公園の管理に関する情報収集と会員への情報提供。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
都市公園数	箇所	168	169	170	171	172

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市職員	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
(参画対象団体) 日本公園緑地協会	都市整備課の職員数	人	17	17	17	19	19
	日本公園緑地協会の会員数	団体	975	951	956	950	950

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
都市公園についての最新情報を得て、事務事業に活用する。	市民からの苦情・要望件数	件	115	78	76	63	57

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民1人当たりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	50		50		50		50		50	
	事業費計(A)	千円	50		50		50		50		50	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	50	負担金	50	負担金	50	負担金	50	負担金	50
人件費	人	1		1		1		1		1		
のべ業務時間	時間	3		3		3		3		3		
人件費計(B)	千円	11		11		11		11		11		
トータルコスト(A)+(B)	千円	61		61		61		61		61		



事務事業名	日本公園緑地協会参画事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和42年に日本公園緑地協会が発足した。佐野市は、合併以前から会員として参画し事務事業の情報収集等を行っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	都市公園の整備に関し、災害時の避難及び防災拠点となる広場の確保、またバリアフリーに適合した整備促進が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	公園緑地に関する情報等を得ることで有用な整備・維持管理に活用した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	協会への参画により情報収集を図ることは、公園や緑地の管理に寄与することである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	公園緑地の健全な発達を図ることを目的とし活動する協会であり妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	公園や緑地の管理に活用されており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	公園緑地に関する情報等を得ることで有用な整備・維持管理に活用しており十分な成果が出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は最小の経費で行っており削減できない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	都市公園等の整備に貢献するものなので、受益者は不特定多数の公園利用者となる。そのため、受益者は特定されず、受益者負担を求めるとはならない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	日本公園緑地協会が解散又は会から脱会すれば本事業は終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)  	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	特になし。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					



事務事業名		都市公園安全安心支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり				担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一		
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備				新規事業・継続事業			継続事業		
	基本事業	4	都市公園の整備				実施計画事業・一般事業			一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11734	一般	8	4	5	都市公園安全安心支援事業						
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H26年度～R7年度			根拠法令 条例等	<small>・都市公園法・佐野市都市公園条例                  ・佐野市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例</small>					
							事業区分			市単独事業・国県補助事業		国県補助事業
									任意的事業・義務的事業		任意的事業	
									実施方法		一部委託	
									事業分類		施設等整備事業	
									リーディングプロジェクト		該当なし	
									市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
公園出入口からトイレまでの園路とトイレのバリアフリー化を図り、合わせてトイレの水洗化するものである。		・栃本緑地の既設トイレ及び園路のバリアフリー化及び水洗化の実施予定で、用地買収と次の整備予定箇所の設計業務委託を実施したが、工事については台風の影響で繰越となった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
バリアフリー化する公園数		箇所	1	1	0	2	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

工事を実施する施設(トイレ、園路、出入口)公園利用者		対象指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		工事を実施する施設数		箇所	1	1	0	2	2

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

公園施設をバリアフリー化して、利用者の安全安心を確保する。		成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		バリアフリー化する施設数		箇所	1	1	0	1	2

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。		上位成果指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		都市公園の汲み取りトイレの解消率		%	23.8	28.6	28.6	57.1	66.7

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円	8,530		3,600		1,237		11,750			
	県支出金	千円										
	地方債	千円									19,300	
	その他	千円										
	一般財源	千円	11,480		3,766		3,155		9,479		2,200	
	事業費計(A)	千円	20,010		7,366		4,392		28,229		21,500	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	3,151	委託料	76	役員費	312	委託料	329	委託料	2,700
			工事請負費	16,859	工事請負費	7,290	委託料	3,072	工事請負費	27,900	工事請負費	18,800
						工事請負費	0					
						公有財産購入費	70					
				補償金	937							
人件費	正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2	
	のべ業務時間	時間	300		300		300		300		300	
人件費計(B)	千円	1,145		1,146		1,145		1,145		1,145		
トータルコスト(A)+(B)	千円	21,155		8,512		5,537		29,374		22,645		

事務事業名	都市公園安全安心支援事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	都市公園トイレ水洗化事業は平成4年度から開始して整備を進めてきた。開設公園バリアフリー化事業は平成16年度から開設公園の安全対策を目的として整備を実施してきた。 平成26年の都市公園担当者会議において、既設公園施設のバリアフリー化については平成30年度までの期間限定で、安心安全対策緊急総合支援事業計画を策定することで国庫補助の対象となるとの説明があった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国は、安全安心な街づくりを推進しており、高齢者や障がい者が利用できるバリアフリー化を行い、人にやさしく安全に安心して利用できる公園環境の整備を求めている。平成18年12月にバリアフリー新法が施行され、既存の都市公園も基準に適合するように努力義務が課せられた。 平成25年4月1日より、佐野市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例が施行され、バリアフリー化の基準が定められた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会から老朽化した汲み取りトイレを、安全に安心して利用できる水洗トイレの整備を求める一般質問がだされている。また、市民からは、家庭においては汲み取りトイレがほとんどないので、子供たちが使えないとの苦情もある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	公園利用者が、安全・安心に利用できるように施設をバリアフリー化することは、快適で質の高い住環境の整備であり、快適なまちづくりに貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	都市公園の管理は法に定められており、施設をバリアフリー化することは、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	都市公園の施設をバリアフリー化することは、公園利用者に快適で質の高い公園施設を提供することになり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	適切な工法や適正な単価・歩掛を用いて積算しており、やり方・進め方を見直すことはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	設計を標準化し、事業費の削減を図っているため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	受益者は、不特定多数の公園利用者であり、負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	事業計画に掲げた公園施設のバリアフリー化が完了することで終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									

事務事業名		城山公園駐輪場運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当係	市街地整備係	担当課長名	三関 純一		
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	4 都市公園の整備						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
	11727	一般	8	4	5	城山公園駐輪場運営事業		任意的事業・義務的事业	任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H27年度～ 年度		根拠法令 条例等	都市公園法 佐野市都市公園条例		実施方法	一部委託				
								事業分類	施設維持管理事業(市主体)				
								リーディングプロジェクト	該当なし				
								市長市政公約	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
城山公園は、JR佐野駅・東武佐野駅の北側、佐野市の中心に位置し、多くの市民・観光客が利用している。その城山公園内にある城山公園駐輪場を運営及び維持管理し、公園利用者等の利便を図る。		・4月～3月 駐輪場の運営及び維持管理を実施。 ・10月 防犯カメラを設置。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
駐輪場の稼働日数		日	365	365	366	365	365

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

城山公園駐輪場利用者。		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		駐輪場の利用台数	台	8,879	7,510	6,515	8,000	8,000

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

城山公園駐輪場を快適に利用してもらう。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		駐輪場利用者からの苦情件数	件	0	0	0	0	0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		市民1人当たりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	839		698		634		702		702	
	一般財源	千円	1,231		1,372		1,542		1,207		1,207	
	事業費計(A)	千円	2,070		2,070		2,176		1,909		1,909	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			管理委託料	907	管理委託料	907	管理委託料	916	需用費	150	需用費	150
			機械等借上料	1,163	機械等借上料	1,163	保守委託料	28	管理委託料	924	管理委託料	924
						機械等借上料	1,232	保守委託料	56	保守委託料	56	
						工事請負費	0	機械等借上料	779	機械等借上料	779	
正規職員従事人数	人	1		1		1		1		1		
のべ業務時間	時間	20		20		30		20		20		
人件費計(B)	千円	76		76		114		76		76		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,146		2,146		2,290		1,985		1,985		

事務事業名	城山公園駐輪場運営事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	市街地整備係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	城山公園駐輪場の利用状況は、公園利用者だけでなく、公共交通利用者による利用も大変多い。また、平成26年度に佐野市中心市街地活性化基本計画庁内推進会議において、駅北駐輪場の整備については、城山公園の駐輪場を公園利用者が適正に利用できることを前提に、一般の方も利用できるよう料金徴収システム等の施設整備を検討することが決定事項として承認された。それらを受け整備・運営を実施した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特になし。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	駅北駐輪場の整備に関して、議会(平成21年6月定例会、平成25年6月定例会、平成26年2月定例会)で質問があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	城山公園は中心市街地活性化基本計画の区域内にあり、駅北駐輪場の機能を担うものとして、公園の駐輪場を整備・運営することは、計画的な中心市街地活性化の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	都市公園の管理者は市であるので、公園施設である駐輪場の運営は市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象と意図を見直す必要はなく、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	限られた予算のなかで、委託業者と連絡を密にとり、できる限り迅速に行動する事を心がけており、結果、利用者からの苦情もない事から、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は長期契約に基づくもので削減の余地はない。 人件費は必要最低限の人数で行っており削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	城山公園駐輪場の利用料金は、公園利用者のために4時間までは無料であり4時間を超えて駐輪した場合は有料となるため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 城山公園駐輪場が廃止又は指定管理者による管理になれば本事業は終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					



事務事業名		公園台帳更新事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一		
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業			継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業			一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11718	一般	8	4	5	公園台帳更新事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H28年度～R1年度		根拠法令 条例等	都市公園法 佐野市都市公園条例						
							事業区分			市単独事業・国県補助事業		市単独事業
									任意的事業・義務的事業		任意的事業	
									実施方法		一部委託	
									事業分類		計画策定・管理事業	
									リーディングプロジェクト		該当なし	
									市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
都市公園法第17条の規定より市が都市公園台帳の作成及び保管することが義務付けられており、令和元年度は米山公園の台帳を更新した。		・9月 台帳を更新する公園の選定 ・2月 台帳更新の業務委託契約 ・3月 台帳更新の業務委託完了					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
更新する台帳数		件	1	1	1	0	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

都市公園	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	都市公園数	箇所	168	169	170	171	172

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

公園台帳の更新を行うことで、公園を良好に維持管理する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	都市整備課が管理する都市公園数	箇所	163	164	165	166	167

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

快適な住環境創出のため、公園等の整備を推進する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民1人当たりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	475		432		473		0		500	
	事業費計(A)	千円	475		432		473		0		500	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料	475	業務委託料	432	業務委託料	473			業務委託料	500
	人件費	人	2		1		1		0		1	
のべ業務時間	時間	20		15		15		0		15		
人件費計(B)	千円	76		57		57		0		57		
トータルコスト(A)+(B)	千円	551		489		530		0		557		



事務事業名	公園台帳更新事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	都市公園法第17条の規定より市が都市公園台帳の作成及び保管することが義務付けられているため、供用開始から長期間経過した公園について、現況を的確に反映するよう台帳の更新を実施する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	開発等により公園が増加しており、それに伴い公園台帳も増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	業務委託を早期に行う予定であったが、計画通りとは行かなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	公園台帳の更新を実施することにより、公園の良好な維持管理が行え、快適で質の高い住環境の整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	都市公園法の規定により、公園管理者(市)が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	都市公園法の規定により公園管理者(市)が公園台帳を作成及び保管することが義務付けされており、市の都市公園を良好に維持管理することは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	業務委託を早期に行い計画的に事業を推進することで成果の向上を図る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	公園が年々増加している中、必要最低限の事業費・人件費であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	公園台帳の整備は公園管理者(市)の義務であるため、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	すべての公園台帳の整備が終了したとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)  																									

事務事業名		公園施設長寿命化事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11712	一般	8	4	5	公園施設長寿命化事業					
	事業計画		期間限定複数年度	事業期間	H27年度～R6年度		根拠法令 条例等	・都市公園法・佐野市都市公園条例 ・公園施設長寿命化計画策定指針(案) ・都市公園における遊具の安全確保に関する指針			
						事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業	
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		一部委託	
								事業分類		施設等整備事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
公園施設長寿命化計画に基づき、近隣公園9箇所および地区公園2箇所の公園施設の補修・更新工事を実施する。 遊具等施設 35箇所 一般施設 20箇所 土木構造物 4箇所 建築物等施設 20施設		・長寿命化計画に基づき、観音山公園の遊具更新を完了したが、台風の影響で茂呂山公園の複合遊具更新が繰越となった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
補修する施設数		箇所	0	0	0	0	0
更新する施設数		箇所	1	2	1	5	3

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

補修、更新する施設がある公園		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
		公園数	箇所	1	1	1	5	3

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 公園施設を予防保全型管理による対策を実施することにより、良好に機能させる。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		更新した施設の累積数÷長寿命化計画対象施設数	%	2.5	5.1	6.3	15.2	29.1

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
		市民一人当たりの都市公園面積(県営を含む)	m <sup>2</sup>	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円	16,000		15,000		7,045		31,955		18,000	
	県支出金	千円										
	地方債	千円							20,700			
	その他	千円										
	一般財源	千円	27,189		15,910		7,479		15,329		18,000	
	事業費計(A)	千円	43,189		30,910		14,524		67,984		36,000	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	75	委託料	4,796	委託料	3,260	委託料	4,759	委託料	4,000
			工事請負費	43,114	工事請負費	26,114	工事請負費	11,264	工事請負費	63,225	工事請負費	32,000
人件費	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	400		400		400		400		400		
人件費計(B)	千円	1,526		1,528		1,526		1,526		1,526		
トータルコスト(A)+(B)	千円	44,715		32,438		16,050		69,510		37,526		

事務事業名	公園施設長寿命化事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	公園施設の老朽化が進む中で、財政上の理由などで適切な維持補修、更新が困難となり、利用禁止、施設の撤去という事態につながるなど、安全で快適な利用を確保するという都市公園の本来の機能発揮に関する根幹的な問題となっている。平成25年度に作成した公園施設長寿命化計画に基づき老朽化した公園施設を計画的に補修・更新することで、ライフサイクルコストの縮減を図るために、本事業を企画した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	佐野市が管理する都市公園は、平成25年4月1日現在154公園あり、供用開始から20年以上経過している公園が5割を占め、10年後は7割まで到達する状況である。今後、ますます増える老朽化した公園施設の維持管理の費用が増加する。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成25年の予算審査特別委員会で、計画策定後の長寿命化対策を速やかに実施しようとする意見があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	実施設計の段階で、更新施設の詳細な検討を実施し、ライフサイクルコストの縮減を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	公園施設の補修更新等の取組を行うことにより、安全性の確保及び快適な公園の維持を図るもので、快適で質の高い住環境の整備の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	都市公園の管理は法に定められており、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	公園施設の安全性の確保及び改修、更新の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全的管理の下、計画的な改修、更新を行うことを目的とする。
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	適切な工法や適正な単価・歩掛を用いて積算しており、やり方・進め方を見直すことはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	本事業は計画的に公園施設の長寿命化を図るために公園施設を補修更新する予防保全型管理事業であるが、公園維持管理事業は定期的実施する植栽等の剪定及び緊急な修繕工事が主であり、統合することは出来ない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	公園施設長寿命化計画に基づいて事業を実施する中で、個々の施設の対策内容を検討することで事業費を削減する余地がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は不特定多数の公園利用者であり、負担を求めることは出来ない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	公園施設長寿命化計画を策定した公園施設がすべて、良好に機能している施設になれば本事業は終了する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 個々の施設の対策内容は、実施の段階で十分な検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○		×	低下		×	×	長寿命化対策の知識習得、及び経験の積重ね。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○		×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		河川施設管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	黒田 英文
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11251	一般	8	3	1	河川施設管理事業費					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市公共物管理条例、佐野市河川公園条例、佐野市河川公園条例施工規則					
							事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
									任意的事業・義務的事業		任意的事業
								実施方法		一部委託	
								事業分類		施設等整備事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
一級河川の改修と一体的に整備された河川公園の草刈、除草等維持管理をし快適な河川空間を確保し、市民の潤いの場を提供する。  親水公園外 1箇所、河川公園 5箇所 面積 27,624㎡		彦間川河川公園(5箇所)の芝生管理、植栽管理、牧親水公園の草刈、トイレ掃除等維持管理を行った。 (需要費 95千円、委託料 1,618千円などの1,714千円の事業を実施。)					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
草刈回数		回	34	34	34	34	34
トイレ清掃回数		回	72	72	72	72	72

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

調整池 一般排水路、一般下水排水路 幹線排水路	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	調整池数	箇所	18	18	19	19	19
	排水路スクリーン設置箇所数	箇所	11	11	12	12	12
	排水路延長	Km	不明	不明	不明	不明	不明

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

排水路を適切に管理することにより排水を速やかに河川等に流下させる。 調整池を適切に管理することで、設置の目的どおりに放流先の河川への流入量を調整する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	佐野市に住み続けたいと思う市民の割合	%	82.4	83.0	84.0	85.0	86.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

・生活に潤いを与える、空間・憩いの場を確保する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民一人当たりの都市公園面積	㎡	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00
	都市公園の汲み取りトイレの解消率	%	23.8	38.1%	47.6%	57.1%	66.7%

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			2,514		1,714		2,574		2,574	
	事業費計(A)	千円	0		2,514		1,714		2,574		2,574	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			11.需用費	121	11.需用費	114	11.需用費	95	10.需用費	138	10.需用費	138
			12.役員費	1	12.役員費	1	12.役員費	1	11.役員費	1	11.役員費	1
		13.委託費	2,352	13.委託費	2,399	13.委託費	1,618	12.委託費	2,435	12.委託費	2,435	
正規職員従事人数	人	3		3		3		3		3		
のべ業務時間	時間	541		541		541		541		541		
人件費計(B)	千円	2,064		2,067		2,064		2,064		2,064		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,064		4,581		3,778		4,638		4,638		



事務事業名	河川施設管理事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	牧親水公園については、平成7年度共用開始により維持管理が発生した。彦間川河川公園は、平成11年度栃木県と管理協定を締結し維持管理が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成17年合併時に河川公園条例を制定し、佐野市河川公園をあらためて設置したことにより管理の対象や内容が明確化された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民からは、緑地の状態については、できるだけ年間を通して草が伸びていない状況を望んでいる。また、トイレの状態も常にきれいな状態を期待している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	河川公園を良好に維持管理することにより、快適で質の高い住環境を創出している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	本事業により河川環境を整えることは、市民にとって高い公共性があり、市が負担することは、妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	本事業は、河川公園を良好に管理することにより、市民にとって潤いのある河川環境を確保することになり、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	河川公園としての草刈等最低限の管理であり、管理内容に伴った成果は出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	草刈等の維持管理経費は、シルバー人材センターの実費人件費で構成されており、最低の賃金単価であり、これ以上大幅にコスト削減することはできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	河川公園利用者は、地元に限らず不特定地域からの利用者も数多くあり、特定の受益者に負担してもらうことは、困難である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	河川公園の機能を保全するための、最低限度の維持管理であり、休止・廃止、事業終了はない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					



事務事業名		(仮称)高萩中央公園整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公園緑地係	担当課長名	三関純一	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 都市公園の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11715	一般	8	4	5	(仮称)高萩中央公園整備事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業	
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H24年度～R5年度			根拠法令 条例等	都市公園法・佐野市都市公園条例・佐野市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準に関する条例				
	実施方法		一部委託			事業分類		施設等整備事業			
	リーディングプロジェクト		該当なし			市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
1. 3.2haの地区公園整備計画案を立て、高萩町会及び鍛塚町会と整備内容について説明会を行う。 2. 説明会の意見・要望を参考に整備計画を立てる。 3. 一部用地を買い戻す。(A=2,847㎡) 4. 都市計画決定を行う。 5. 公園整備工事の設計を行い工事を発注する。 6. 整備工事完成後、公告し供用開始する。 総事業費 545,600千円		・実施設計に基づき、造成工事と地下埋設施設、園路等の整備を実施していたが、台風の影響により繰越となった。					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
土地の取得面積		㎡	0	0	0	0	0
調査・設計を行った面積		ha	0	0	0	0	0
整備工事を行った面積		ha	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

近隣住民 公園予定地	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	近隣住民人口(高萩町、鍛塚町)	人	4,873	4,842	4,926	4,900	4,900
	公園予定地	ha	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

近隣の住民が安心して遊ぶことができ、休息することができる場所となる。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	事業進捗率	%	26.5	36.5	37.9	60.6	73.4

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

快適な住環境創出のため、公園等が整備されている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市民一人当たりの都市公園面積(県営を含む)	㎡	19.09	19.20	19.34	20.00	20.00

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円	6,470	26,400	3,780	67,733	32,500	
	県支出金	千円						
	地方債	千円	7,100	26,700	3,500	73,200	35,300	
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,000	1,472	280	4,507	2,200	
	事業費計(A)	千円	14,570	54,572	7,560	145,440	70,000	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			工事請負費	14,570	工事請負費	54,572	委託料	0
					委託料	7,560	役務費	3
				工事請負費		委託料	600	
				工事請負費	143,924	工事請負費	69,700	
				負担金、補助及び交付金	913			
人件費	人	2	2	2	2	2		
のべ業務時間	時間	600	600	600	600	600		
人件費計(B)	千円	2,290	2,293	2,289	2,289	2,289		
トータルコスト(A)+(B)	千円	16,860	56,865	9,849	147,729	72,289		

事務事業名	(仮称)高萩中央公園整備事業	担当部	都市建設部	担当課	都市整備課	担当係	公園緑地係
-------	----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野新都市開発整備事業の際に当公園が計画されていたが、予定地は、最終処分場跡地であり、これまで廃止の条件であるモニタリング調査を継続実施してきており、未整備のままであったが、平成22年度に水質がクリアーし、平成23年1月に最終処分場が廃止となったため、公園整備が可能となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	最終処分場の跡地であったため、排水処理施設が残されており南側都市計画道路高萩中央線が暫定的な整備となっている。また、北側に隣接する下水道雨水幹線東部4号の上部を新設道路として活用する要望が地元からあり、公園計画の際は、関係課と協議を要する。また、国庫補助採択には、水質の安全性及び都市計画決定が必須となっていること、防災施設を整備するには、防災計画への位置づけなど要件がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年12月議会において地元議員から、最終処分場として長年協力してきた経緯があり地元への振興策としての一面もあることから、公園計画にあたっては、地元から親しめる公園として地元の意見を十分に取り入れるべきとの一般質問があった。また、地元町会からも地元意見を反映しての公園整備の要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	佐野新都市開発整備事業(高萩・越名地区)の際に計画された公園の整備により、近隣住民に潤いのある空間を提供することができる。
	結びついている		
目的 妥当性 評価	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	佐野新都市開発整備事業(高萩・越名地区)により生み出された予定地に地区公園を配置し市民に提供するもので、公共性が高く市が負担することは妥当である。
	市が行わなければならない		
目的 妥当性 評価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	佐野新都市開発整備事業(高萩・越名地区)で生み出された公園予定地を整備することにより、近隣の住民が利用できる潤いの場所となり対象と意図は妥当である。
	妥当である		
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	適切な工法や適正な単価・歩掛を用いて積算しており、やり方・進め方を見直すことはできない。
	成果向上余地がない		
有効性 評価	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	公園整備にあたっては必要最小限の整備を考慮しており、設計等については外部委託を実施しているため、削減の余地はない。
	削減の余地はない		
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	受益者は、不特定多数の公園利用者であり、負担を求めることはできない。
	受益者負担を求める必要がない		
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 整備工事完成後公告し供用開始して事業完了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					